

新たな道を歩み出す門出を祝して



卒業式 挙行

生命歯学部



令和6年3月6日(水)、5年ぶりにコロナ禍の制限が緩和された卒業式を執り行うことができ、大変嬉しく思います。また、今年度は校友会・歯学会入会歓迎会も開催していただき、私達を校友会の一員として温かく迎えてくださりましたこと、心より感謝申し上げます。

第113回卒業生として、ようやく歯科医師のスタートラインに立つことができたという喜びの反面、身が引き締まる思いであります。

日進月歩に発展を遂げている医療や多種多様なニーズに対応するために、温故知新の精神を忘れずに、弛まぬ研鑽を惜みず、自己犠牲を厭わない姿勢を持ち続けていく所存であります。

生命歯学部
113回卒
秋山 拓



新潟生命歯学部



令和6年3月5日(火)、第113回新潟生命歯学部卒業式、校友会・歯学会入会歓迎祝賀会が行われました。私たちのためにこのような式を催していただき、ありがとうございます。

大学生活で一番印象に残っているのは、6年生で受けた1年間の講義でした。先生方の講義を聞いて多くの知識を得たり、友人たちと疑問を相談しあうのは有意義な時間でした。知識や経験はまだ足りませんが、今後の歯科医師生活を通して成長し続けたいと思います。

新潟生命歯学部
113回卒
大貫 紗恵



生命歯学部 馬術部

馬術部は女子8人、男子2人で活動しております。毎週末土日に神奈川県座間近代乗馬クラブで活動をしています。昨年は年間5回ある医歯薬戦にて、1年生から5年生がそれぞれの試合で活躍することができました。日本歯科大学馬術部は今年で110周年を迎え、全日本医歯薬学生馬術連盟は2020年に100周年を迎えました。そのような歴史ある部活で活動できることを光栄に思っております。後輩たちのこれからの活躍を楽しみにしています。今後とも馬術部の応援をよろしくお願いいたします。



生命歯学部5年
山田 英恵



新潟生命歯学部 ウインドサーフィン部

ウインドサーフィン部は、海での練習ならびに夏に開催される大会への出場を目指して、部員9名で活動しています。ウインドサーフィンをやったことがなくても、先輩が丁寧に教えてくれるので、誰でもすぐに乗れるようになり、新入部員が大会で3位になったこともあります。また、サーフィンは男性のイメージが強いですが、女性でも乗れるようになります。その日の波や風の状態に合わせて、楽しく緩やかに活動しています。部活以外でもキャンプやバーベキュー、旅行などもあり、とても仲良く活動しています。ぜひ入部をお待ちしております。



新潟生命歯学部3年
吉田 圭佑



出版情報

『悩んでも 迷っても 道はひとつ』

日本歯科大学名誉博士 村上 一枝 先生 (54回卒)

村上先生が46歳の時、初めて西アフリカのマリ共和国に旅行に行って子供の病気が多いと聞き、自分でも何かできることがあると48歳で小児歯科開業医を辞して、単身でマリに渡り、ついに52歳でこれまでに例のない支援団体、「西アフリカ農村自立協力会(カラ)」を設立し、小学校や中学校の建設、産院や診療所の設置、識字教室や女性センターの設立、井戸掘削、助産師・看護師、女性健康普及員の養成、マラリア予防、腸内寄生虫駆除、エイズ予防などの活動をして、77歳でイスラム過激派のテロや襲撃によりやむを得ず撤退したが、その後現在もマリの人々が自ら再建する力を信じて後方支援の資金集めに奔走していると記されていた。

先生のこの本は、何がやりたいかわからなくて迷う人も、どうせ無理だとあきらめてしまう人もいるかもしれないけれど、悩んでも迷っても道はひとつだと、若い人たちの背中を押してください。是非皆さんに一読いただきたいと思います。



学生短信
Tokyo

一期一会を日常に

静寂の中に釜の鳴り音とお茶を点てる音が微かに聴こえる。お茶を習い始めて十年。その節目の年から、臨床系科目の実習が始まった。折々に医療は茶道とどこか似ていると感じる。

お点前(お茶を点てる事)には、一つ一つの動作に意味

がある。歯科治療においても、歯を削る作業一つにも多くの種類の器材が存在するが、それぞれに役割があり、補綴物の接着手順はどの段階にも意味がある。相手と向き合う空間もそうだ。お茶室は質素で無駄なものはない。歯科のユニットも然り、である。これらには相手を慮る精神が通底している。

実習では初めての作業や器材に戸惑うこともあるが、一つ一つの意味を考え、それを学ぶ講義を大切に、日々研鑽に努めたい。



生命歯学部3年
西村 真生

東京



生命歯学部
解剖学第1講座
春原 正隆

私は、東京下落合で生まれ、小中高と千葉で過ごし、小学校でサッカー、中学校ではバレーボールと野球、高校で柔道、大学ではアスレチックと陸上(投てき)、アルバイトはスポーツクラブのインストラクターと学生時代はスポーツに明け暮れ、インストラクターは国家試験前日まで続けていた記憶があります。

その間得られた友人達とは今だに交流があり、まさに人生唯一無二の宝であると思ってます。学生時代は、極力歯科とは異なる分野の友人との輪を広げ、出会いを大切にしたいですね。数年前、そんな友人の一人に飯田橋でばったり会い、なんと本学近くのKADOKAWAに勤務する部長職であることが判明しました。この原稿を提出する頃、久々に会う予定です。

私はディーンフジオカの母校、千葉県立船橋高等学校出身で、部活の先輩には野田佳彦元内閣総理大臣がおられます。SPの方を多数従え、突如部活の同窓会にいらした時は圧巻でした。高校の友人達とは今でも深い関わりがあります。

私の場合、樺太の旧制豊原中学1年生で柔道初段を取得するという、樺太庁始まって以来の快挙を成

し遂げ“樺太の白熊”と恐れられた44回卒の恩師佐藤亨先生との出会いが人生の転機となりました。学生諸君は一期一会を大切に、様々な分野の良き友人達に支えられ、人望のある立派な歯科医師として活躍して欲しいと願っております！



①日本歯科大学元学長・解剖学第1講座名誉教授 佐藤 亨先生
②解剖学研究会
③関東解剖野球大会
④船高柔・剣道部同級生の集い(私の正面は、千葉大学医学部教授、他の友人達は、千葉大医学部、東大法学部、一橋大学法学部出身の面々)

新潟



新潟生命歯学部
生理学講座
佐藤 義英

趣味は横浜DeNAベイスターズの試合(2軍も含む)と大相撲の観戦です。ベイスターズの前身である大洋ホエールズのユニホームに魅了されファンになりました。学生のときは前期本試験が終わると、そのまま横浜スタジアムや神宮球場へ直行！なんてことをしていました。

大学3年生のとき、フジテレビのプロ野球ニュースという番組内で、コメンテーター募集の告知があったので、私は横浜大洋ホエールズへの熱き思いを書き、写真と一緒に郵送しました。1ヶ月後、「書類審査に合格したのでフジテレビへ面接に来て下さい」との返事が届きました。さて、この後どうなったでしょう？それは私に直接聞いて下さい。



①入学式後、学生便覧を右手に持って記念撮影
②フジテレビへ送った写真
③横浜ベイスターズの優勝が決まる直前に号泣

こうゆう先輩
第34回

とことん遊び、楽しむ!

渡辺 勝(83回)



皆さん、学生生活をエンジョイしていますか？もちろん、学生の責務は、勉学です。学校での授業は歯科医師になるためには、必要な事ばかりです。しかし、歯医者として生活していくためには、勉学だけでは、迷うことが多々あります。というか、教科書には答えのない事象の方がたくさんあります。

我々の悩みは、その殆どが、人間関係。歯科医師は、その業務の性質上、メンバーに「指示」を出すケースが多々あります。その時に、「思った事」を「端的」に伝えられるか？ 伝わらなかった時に、「伝わる」ために他の手段を選択できるか？ が、求められます。他人という、全く価値観の違う人間に、どのように伝えるか？ ここを学生時代に取り組んで、様々な経験を積んでおくと、めちゃくちゃ役立ちます。かくいう私は、根拠が大事と、正解を患者さん

にもスタッフにも、開業以来ずっと押し付けていました。その結果、スタッフが全員退職することも経験してしまいましたが、今は、スタッフ、そして、その子供達と遊びに行くことができるようにもなりました。皆さんも、今は勉学に忙しいと思いますが、友達との付き合いも大切にしてくださいね。



メンバーの子供とハイキング



メンバーの大切にしているものを大切に

校友会・歯学会入会歓迎会

生命歯学部

令和6年3月6日(水)卒業式終了後メモリアルホールにて



新潟生命歯学部

令和6年3月5日(火)卒業式終了後GAKUSHOKUにて



「学術フォーラム2024」を対面式で開催

□ コロナウイルス感染拡大防止のため、中止やWeb開催を余儀なくされてきましたが、5年ぶりに対面式で、講演、テーブルクリニック、ポスターセッション、ランチョンセミナー、ミニデンタルショーを盛り込んだ内容になっています。

お好みの演題をチョイスして参加できるこの方式は、日本歯科大学校友会独自のもので他大学からも注目をあびており、幅広い年代の先生方にとって明日からの臨床に役立つものと確信しております。また今回は、普段日本歯科大学校友会学術フォーラムでは拝聴できない他大学出身の講師もお招きしています。

本学学生および若手の先生を対象に参加無料枠を設けていますので、情報交換や、懇親の場としてもご利用いただきたいと思います。

久しぶりの対面フォーラム、皆様奮ってのご応募お待ちしております。

学生は無料で参加できる



QRコードからも申込みができます。

全日本歯科学生総合体育大会

歯 学体ラグビー部門は2023年12月27、28日に埼玉県熊谷ラグビー場で開催されました。1年間歯学体優勝を目標に一生懸命練習に励んでまいりました。結果は全体6位と悔しい結果に終わりました。後輩たちにはこの悔しさを糧に、来年こそぜひ優勝してもらいたいです。

私はこの1年間ラグビー部主将として様々な経験をさせていただきました。不甲斐ないキャプテンではあったと思いますが、OB先生方や先輩に支えられてやり通すことができました。また、時には辛いことや苦しいこともありましたが、愛すべき後輩たちがいたからこそ乗り越え成長できた1年間になったと思います。今後は国家試験にむけてラグビーと同じくらの熱量で勉強にも励んでまいります。



生命歯学部5年 小柴 健太郎

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

